

事業用自動車事故調査報告書 概要

～貸切バスの転落事故～

(福井県あわら市)

事故概要

平成29年7月13日9時04分頃、福井県あわら市の県道29号線において、貸切バスが乗客20名を乗せて走行中、道路左路外に逸脱して約1.3m下の農道に転落し、左側面を下にして横転した。

この事故により、当該車両の乗客2名が重傷を負い、1名が軽傷を負った。



事故状況図



原因

- ・運転者が事故地点手前の曲線部分において速度超過をして走行し、エアコン温度調節の操作スイッチを確認しようとして前方から目をそらし、**前方不注視の状態**で走行したため、カーブの出口付近で操舵を誤り、事故が発生したものと考えられる。
- ・当該事業者は、従業員3名であり、うち運転者2名が運行管理者を兼務していることなどから、終業点呼の一部が対面で行われていなかったことや、安全に対する運転者の指導監督が必ずしも適切に行われていなかったことなど、**運行管理が適切に行われていなかった**ことが、同運転者が**安全を軽視した運転**をした背景にあった可能性が考えられる。

再発防止策

- ★事業者は、運行頻度の少ない運転者に対して事故を防止するため、次に掲げる運行管理の取組を徹底する必要がある。
- ・運転者が、何度も経験のある経路を運行する場合、漫然運転をしがちであることから**慣れた道でも安全な運転を行うよう指導・教育**を行うこと。
- ・カーブ区間を通過する際は、**安全な速度まで減速してから通過**させること。
- ・全ての座席において乗員に**シートベルトを確実に着用**させるよう指導すること。